

<多治見空手道教室だより>

H30. 11. 21

今年のマスターズ2018札幌大会は、9月の北海道地震のために全ての競技が中止となり、来年は2019岐阜大会なので、大会運営部長の自分か中心で運営するため、札幌の視察にも行きたかったし、自分にとって14年目の大会となる札幌大会に向け、自分なり練習もしてきたので何か寂しい気持ちが残っていた時に、考えてもいなかった全空連6段位の審査の申込があったので、これも何かの縁だと思いダメ元で申し込んで見ました。

若い人は40歳ぐらいで申し込んでおり、国体経験者の様なレベルの人が挑戦する高段者の登竜門なので、受かる苦も無いけれど、チャレンジぐらいは出来るだろうと、形2つと組手2試合の練習をして、学科もそれなりに勉強して、11/16に大阪府立体育館の近くのホテルに泊まって、17日の朝から会場に入りました。

会場で受付をして直ぐに私が最高齢で番号は最後の86番だと解り、東海地区や連合会の大先生など知り合いの先生もいて話を聞くと、合格率は1割程度で殆どの方が数回以上挑戦していると知りました。

学科は全て記述式で難しかったけれど、5時間半も待って審査員や幹部が10人以上見ている前で、開き直って落ちて打った形2つと組手2試合は、とても貴重な経験で不合格は覚悟してはいますが楽しかったです。

今日のお便りは第31回小滝苑文化祭と第56回連合会全国大会について報告します。

記

1. 空手教室アップルケーキ作り 11/9 (金) 桜ヶ丘地区センター調理室

毎年小滝文化祭に合わせて、育成会でアップルケーキを作って、日頃お世話になっている陶生苑に寄付していますが、今年は調理室が午後しか空いていなかったもので、初めて午後からアップルケーキ作りを行いました。仕事の都合をつけて参加して下さいの方は、柴田、磯村、服部、大竹、木俣、灰塚、高内、勝又、前川、畑中、牧村と青島の12人で13時半～18時半まで約600個のアップルケーキを焼きました。



アップルケーキ作り

材料の買い出しは坪井さんと磯村さんが担当してくれましたが、今年はとても良いリンゴが買えたので、育成会の活躍は毎年の事ですが、今年のケーキは特に評判が良く、陶生苑に100個寄付して大変喜んで頂きましたし、教室で400数十個、文化祭にも50個超を販売しました。有り難う御座いました。

2. 第31回小滝苑文化祭空手道演武 11/11 (日) たじみ陶生苑集會室

昨年に続いて第31回の文化祭でしたが、今年は一般の方の展示作品が少なく、パネルに空きが多かったのが少し寂しかったですが、空手教室のお便り、賞状、トロフィーと習字教室の展示は評判が良かったです。

空手の演武も昨年と同じ様に30分間でしたが、最初に正座して遥音の号令で宣誓を行い、その場基本と移動基本を和美先生の号令で少年部と茶黒がやり、太極初段は祐輝、康聖、芽衣が、平安二段は至道が、平安初段は眞一、翔聖、謙佑が、平安五段は牧村、優吾が、バッサイは結衣、源太、創堅、歌音が行い、その後で組手試合を杉森先生の審判で凜空と陸豊が、2人の母の操作するデジタルタイマーの表示で行いました。

トップ選手の形として、心春と晏奈がチャタンヤラクーサンクーを打ち、締めは遥音のアーナンで、最後に正座して青島が道訓を読んで終わりました。



牧村・優吾の平安五段



結衣 創堅 源太 歌音



凜空 陸豊



デジタルタイマー



心春チャタン



晏奈チャタン



遥音アーナン



道訓を読み演武終了



文化祭演武参加者

3. 第56回連合会全国大会 11/11(日) 大阪府立体育館

今年東海大会の形で優勝・準優勝した選手が7名もいて、1年生の利紅と康佑、2年生の健琉、5年生の丈一郎、6年生の洵生と未侑、高校生の鼓ですが、私が文化祭の推進委員であり、地域の文化祭を第1回から提案して中心的に支えて来たことで、12月に市から表彰されるとことが決まっていたので、今回は文化祭に残る決断をしました。

しかし、選手達は今までに無かったほどの素晴らしい成績を上げてくれました。

1年生は利紅が優勝し康佑が3位、2年生は健琉が優勝してくれ、過去に教室からの優勝は10数年前に、1年女子の管選手と一昨年の遥音の2人だけなので、同じ年に同時に2人優勝し、3位にも入賞したのは驚きの嬉しさでした。

他の選手も頑張ったけれど、学年が上がるにつれ、厳しい戦いになった様です。



利紅1回戦



利紅準々決勝



利紅決勝?



康佑3回戦



康佑準々決勝



康佑準決勝



健琉1回戦



健琉3回戦



健琉決勝?



表彰台の利紅と康佑



拳和会多治見の参加選手